

熱い心、真の勇気で八王子改革！！

決断と実行。

八王子市議会議員

48歳

いとうただゆき

伊藤忠之



ごあいさつ

常日頃から私の政治活動にご理解をいただきましてありがとうございます。新型コロナウイルスによって世界中が恐怖で騒がれ、この日本も他人事ではなく皆さまは自分の体、愛する人の感染を防ぐため、自身の行動に自粛のご協力をいただき感謝を申し上げます。特に医療や介護、子育てに携わる機関の人に接触する機会が多い職業の方々、自信の経営あるなしを問わず会社の存続に向けて苦労を重ねているの方々、また会社の都合により社会で活躍をされているの方々、家庭で現状を憂い、家族が幸せを感じられるよう工夫や努力をされているすべての皆様に敬意を表します。

さて、2月25日から3月27日まで八王子市議会第一回定例会が開かれました。市議会も本市の新型コロナウイルスの対応に配慮し、当初の予定を変更、その中で補正予算、令和2年度予算案（市長提出議案51件、一般会計、特別会計など）を審議し、結果賛成多数により現在に至ります。その中、私は予算総括質疑で質問をいたしました。裏面にて一部ではありますがまとめておりますのでご確認を頂きたいと思えます。

今後もウイルスの影響はどのようになるのか、現在はこれからの市議会の開かれ方を各会派で議論しています。

より現実的に、しっかりと地方政治の中で活動を深めてまいりますので今後も変わらぬご指導をお願いします。

皆様のご意見・ご要望、心よりお待ちしております。



八王子市議会議員
伊藤忠之事務所

〒192-0374

八王子市中山446

Tel:

(042)674-8869

Fax:

(042)674-7558

E-mail:

tadayuki802@gmail.com

Blog:

http://ameblo.jp/tadayuki802/

プロフィール 伊藤忠之(48歳)

- ・昭和46年八王子市中山生まれ。
- ・地元中山小・中学校を卒業、私立小松原高等学校卒。
- ・東京コカ・コーラボトリングにてサラリーマン生活を送った後、東花堂(葬儀社)にて経営を学ぶ。
- ・現在、中山在住、母、妻、長女夫婦、次女、孫の7人家族。犬1匹、猫2匹、メダカ7匹
- ・市議会では：
八王子市議会4期
会派 市民クラブ
常任委員会 総務委員会委員
特別委員会 次世代支援・高齢社会対策特別委員会委員
- その他 奨学審議会委員
- ・趣味 筋トレ(足は苦手)
- ・好きな言葉 「今すぐ行動しなければ、10年経っても何もできない」

◎コミュニティ施設支援の予算案から「白山神社のトイレ改修支援はできないか」

【問】市はコミュニティ施設支援とし、市民センター等の本市の建物や備品類を八王子市学園都市文化ふれあい財団を通じ満足度調査を実施し、市民の要望を順次対応をしている。また、これと似たコミュニティ活動支援とし、八王子の4大祭りも支援をしている。しかしながら、本市の4大まつり（八王子まつり等）以外、規模の大きさは違えど地域のまつり等もコミュニティ活動であり、それに対する「支援は存在しないのか。」という願いの声もあるのも事実である。本市には、本市の魅力を市の内外の人に伝えるため、「八王子八十八景」、「八王子景観100選」がある。一定程度本市の書物などで紹介されておる施設などのことや、地域コミュニティも存在し、多く本市に貢献されている施設や団体が要望をした場合補助の対象とする考えを持つべきでないか。

また、紹介した「八王子八十八景」の中に紹介されておる「白山神社」は神社の所有する、9000平米の土地を本市に「白山神社まちの広場」として貸し出し、地域住民などに利用されている。こういったことから支援を検討していただけないか。

【答】 ●市民活動推進部長 本市では、市民センターや地区会館などのコミュニティ施設の維持管理、町会の所有する会館などの施設整備補助がある。「白山神社」のトイレについては、地域コミュニティにおいて一定の役割を果たしているが本市がコミュニティ施設としてトイレの設置や維持管理を補助することは難しい。

●まちなみ整備部長 「白山神社」には土地をお借りし「白山神社まちの広場」の利用者が神社のトイレを利用していることは認識している。公園や広場を利用する高齢者の方々が多くなった社会状況を鑑み、来園者が使用している園外トイレの支援策についても様々な手法を持ち、まずは調査研究していく。

◎なぜ、多摩ニュータウンの道路・水路維持補修予算がなぜ高いのか。

【問】道路・水路維持補修予算は大きく三つに分かれており、道路アドプト予算を別とすると本市には、多摩ニュータウン道路・水路予算と、それ以外の本市の道路・水路予算が存在する。多摩ニュータウン予算は公社が担当し、その他の地域は本市直接補修となっている。この経緯を伺うと多摩ニュータウンの道路などを譲り受けた経緯。今まで担ってきたノウハウ。現在の補修センターの現在の位置が多摩ニュータウンとの距離の問題であるという。しかしながら、今後補修センターは、旧市民会館跡地に移転する。今後も公社に任せるつもりか。

また、全体の道路・水路維持補修費（5億7000万円）は、多摩ニュータウン以外の本市の道路予算は3億9956万円、多摩ニュータウンの道路・水路維持補修費は、1億6800万円となっており、本市の面積の1部の多摩ニュータウンの予算が非常に高額である理由を問う。

【答】 ●道路交通部長 補修センターは旧市民センター跡地に計画をしている。移転後はニュータウンへの対応時間などが短縮できるが、公社は現地を熟知し、住民との信頼関係、維持補修のノウハウが蓄積しておるので、これを有効活用したい。その他、多摩ニュータウン予算の内訳は、道路補修費が1490万円（9.1%）、街路樹維持が1億1940万円（73.3%）その他道路照明灯などである。本市の街路樹は2万7500本のうち、多摩ニュータウンには1億6000本存在する。

【要望】多摩ニュータウンは入居開始から44年たち、街路樹も当初と違い大きくなりすぎた樹木も存在するのではないかと思う。今後の予算の膨らみには不安があるが、地域の住民の街路樹への関心が高いことから今後も職員の工夫を重ねて市民の願いに答えてほしい。

毎週月曜日更新。一般質問等の概要のテーマ増やしました。ぜひご覧になってください。

伊藤忠之オフィシャル
BLOG更新中!!

◎その他、森林環境譲与税について質問しました

伊藤忠之 八王子 で

検索

